

平成 28 年度 第 3 回堺市堺区区民評議会 会議録

開催日時	平成28年 8 月 5 日（金） 午前10時00分から午前11時55分
開催場所	堺市役所 本館 3 階 大会議室 1
出席委員	岩田会長、桂委員、川上委員、佐野委員、信田委員、谷本委員、 間宮委員、矢本委員、湯川委員
事務局職員	堺区役所 射手矢区長、泉森副区長、小尾堺保健福祉総合センター所長 （企画総務課）大黒課長、三好課長補佐、上野係長、大仲係長、藪主査 （自治推進課）湯川課長補佐
傍聴者	4 名
議 題	1 開会 2 議事 （1）中間報告に向けた考え方の整理について （2）大道筋における「場」づくりの取組について （3）その他 3 閉会
資 料	会議次第 資料 1 中間報告に向けた考え方の整理について 資料 2 （仮称）大道筋まちづくり広場の構成・内容 参考資料 平成 28 年度第 2 回堺市堺区区民評議会主な意見

議 事 の 経 過	
発言者	発言内容
岩田会長	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 中間報告に向けた考え方の整理について</p> <p>それでは、本日、案件が3件ございます。</p> <p>まず案件1、中間報告に向けた考え方の整理についてです。</p> <p>本日は10月の中間報告に向けての考え方の整理についてご審議いただきまして、中間報告作成に向けての方向性を評議会として決定していければと考えております。</p> <p>事務局で処理しましたこれまでの評議会における委員の皆様の意見をもとに中間報告に向けての考え方の整理としてまとめていただいておりますので、説明をお願いいたします。</p> <p>資料1をごらんください。では、事務局のほうからお願いします。</p> <p>資料1に基づき、中間報告に向けた考え方の整理について説明</p>
岩田会長	<p>今、中間報告に向けた考え方の整理ということで、資料1に基づいて事務局から説明がございました。</p> <p>この件に関しまして、中間報告に向けて内容を区民評議会の結論としていろいろ検討してまいりたいわけなのですが、1が検討の視点、2が方向性、それから3が取り組み案という3つの構成になっていたと思います。</p> <p>内容につきましては、これまで評議会で話し合ってきた内容がおおよそ網羅できているかなと思うんですけども、きょう、もう一度この件についてまとめた中にご検討いただきたいということです。ひとつずつ分けてご意見を伺おうかなと思うのですが、リンクしているところもありますので、それぞれ派生していろいろな話がまたがってもよろしいかと思えます。よろしいでしょうか。</p> <p>内容につきまして、先ほど事務局のほうからお話がありましたけれども、特に何か抜けはないか、もっとこういうことを優先させるべきではないか、それから重点的にこういうことが取り上げられるのでは</p>

	<p>ないかというようなことについてお話をいただけたらなということを考えています。</p> <p>まず、検討の視点というところを取り上げてみたいと思うのですが、ご意見等はございませんでしょうか。</p>
谷本委員	<p>この場では長期のことを話し合うのですか。それとも短期。どういう話し合いでしょうか。</p>
岩田会長	<p>特に長期を話し合うとか短期を話し合うということというふうには分けていなくて、長期もあれば短期もありますねという理解で、その中で、これは長期ではなくて短期に回したほうがいいのか、そういうご意見でもいいと思います。</p>
川上委員	<p>では、短期だったら手法もここで考えていくのですか。これは物すごくいいことが書いてあるので。</p>
岩田会長	<p>そうですね。</p>
川上委員	<p>これらのやり方までここでやってしまうのですか。</p>
岩田会長	<p>やり方について、その中間報告のほうに細かく報告するというベースではないと思うのですが、でも、そういう話も加えながら議論するということが具体的に何か考えるということにつながっていくので、いいのではないかと思います。</p> <p>信田委員、いかがですか。</p>
信田委員	<p>方向性の項に歴史的価値のある町家の保全というふうに書いてありますよね。今、堺区の中で歴史的価値のある町家というものはどれくらいあるのですか。</p> <p>今、山口家とか幾つかのところは、もう、ある程度保全されているのですけれども、そのほかにまだ歴史的価値のある町家というものは本当にあるのかなのか。町家といっても本当にもう壊れかけみたいな、そういうものもどうするのか。それも想定に入れているのか、それとも歴史的価値のある町家を重点的にするのか、その辺をちょっとお伺いしたいなと思って。</p>

岩田会長	<p>では、その話を事務局のほうにお答えいただきたいと思うのですが、今、方向性の中で信田委員から歴史的価値のある町家の保全というこの項目をお話しいただきましたけれども、検討の視点にもそれが重なっていますので、今、検討の視点からまず入っていきたいというふうには考えていたのですが、検討の視点ということと絡めて事務局のほうからお話しただけならと思いますが、いかがでしょうか。</p>
川上委員	<p>ちょっとその前にいいですか。</p> <p>歴史的価値のある町家と書いてあるので、歴史的価値はないだろうかと思って考えていたのですけれども。前回だったと思いますけれども、それ風の建物と私は言っていたような気がするのです。</p> <p>歴史的価値があるものとはっきりわかっている以外のそれ風の建物が結構あるのですよね。それを地域として残しておいてもらったら、歩いてもそういうところなのだとわかるのではないかという話をさせてもらったと思うのです。だから、それ風も入れておいてほしいなど。</p>
岩田会長	<p>表からはわかりにくいけれども、実は、というものがたくさんあるということを私たちは勉強しましたし。</p>
川上委員	<p>いや、それよりも新しい家でも。</p>
岩田会長	<p>新しい家でもですか。なるほど。</p>
川上委員	<p>それふうでもいいのでは。</p>
谷本委員	<p>僕も賛成です、それは。京都はそうですから。</p>
岩田会長	<p>新しいところでも確かに意識を持って改修されているというところは、ぜひそういう取り上げ方をしたほうがいいですね。面的な話をしなければいけないかもしれないですけれども。</p> <p>では、家に関連して、事務局のほうにお答えいただく前に、他の委員からも町家に関しまして、他にございませんか。</p>
谷本委員	<p>こちらで保全という言葉があるのですけれども、もちろん保全は大事なのですけれども、活用という言葉も入れていただけないなということがあります。ポイントになるのではないかと考えています。</p>

<p>岩田会長</p>	<p>したがって、今、川上委員がおっしゃったように、全体の町並みの景観というものが重要になってくるのではないかなというふうに考えています。</p> <p>全体に書いている中では保全・活用のあり方というテーマだったのですが、そういえば、なぜここだけ保全でとまっているのかなという気がします。</p>
<p>事務局 (企画総務課長)</p>	<p>こちらの町家の保全・活用の中で、この中盤の、その歴史的価値のある町家の保全というものは、山口家でありますとか、その七まちの清学院等々をイメージさせていただいて、そちらのほうは文化財課のほうでしっかりと保全していくという事業を視点にして書かせていただきました。</p> <p>今、谷本委員から、まさに保全するだけではなく活用が必要だと、本物ですよ、本物をひとつキーワードにファサード、周辺を風でもいいのではないかとのご意見もいただきましたので、本物は本物としてしっかりと保全をして、その周辺を、町家の町並みを整えていくということが必要ではないかと思えます。</p> <p>今回、保全でとめておりますのは、一旦書かせていただいて、今、意見をいただきまして、その活用が必要であるということをお伺いしましたので、その方向で書き加えていきたいと考えてございます。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>先ほどの信田委員のご質問についてはいかがでしょうか。</p>
<p>事務局 (企画総務課長)</p>	<p>今、清学院の他に鉄砲鍛冶屋敷とか、それ以外のどういうことをこれ、文化財課のほうで今後保全していこうかという資料等につきましては、この会議終了後、また取り寄せまして、またご説明を後日させていただきますと考えてございます。</p>
<p>信田委員</p>	<p>ちょっとあまりわからなかったのですが、多くは焼けてしまっていて、今、ある程度、目をつけられているところは、もう保全されているのかと思いますが、そのほかにまだあるのかなということが気になりました。</p> <p>それと、町家の活用ということで、本物を残していきたいという。今、川上さんがおっしゃった町家風のほうはどうしますかということ</p>

<p>事務局 (企画総務課長)</p>	<p>も、今のお答えの中で、ちょっと疑問に残ったのかなと。</p> <p>いわゆるファサード改修の補助制度等、堺市もつくっておりますし、それぞれ区民の沿道の皆様も、例えば、谷本さんのところのつぼ市さんも、その景観に合わせたような町並みの保全であったり、そういうところを我々もしっかりと沿道の方と協議しながらルールづくりであったり、そのあたりの活動をこれから順にしていきたいと考えてございます。</p>
<p>事務局 (区長)</p>	<p>町家といった場合、ちょっと私も数字について、もう少し、ちょっと勉強しておかなければいけなかったのですけれども、ちょっと今、数字を聞いたのですけれども、それを忘れてしまいまして、100、200、きちんとしたある程度のものはあるというふうに聞いています。ちょっと数字はもう一回勉強しておきます。</p> <p>およそ、町家というものは、2通りぐらいのパターンがあって、非常に歴史的な、文化財的な価値を持つもの、それは今申し上げましたように山口家住宅であったり清学院、それから、他にも文化財のほうでも探して、いろいろ考えてはおると思います。この2つが、今、もう終わった分でございます。</p> <p>それから、今、町家の修景補助制度というものをを用いて、比較的、ご自身でお持ちになっておられる町家を、それが表面的に違う形になってしまったようなものを、ファサードをきちんとすることによって、またその町並みに修景、景観上、歴史的町並みに貢献していこうとするもの、そういうものが2点目でございます。</p> <p>それから、先ほど川上委員もおっしゃいましたけれども、それ以外でも非常に古いそういう建物、町家的なものがたくさん、それはまだまだたくさんあると思います。そういったものは、まさに活用を中心とした対象になっていくと思いますので、それを、もちろん最初の部分はきちんと文化財的価値をもって見ていただくもの、もちろんそこで催し物をやったりすることもある、そういう活用をなされております。</p> <p>それから、2点目のものは集計で、そこで引き続きお住まいとしてお使いになっていかれるものが今のところは多いかと思っております。また、ギャラリーなどもオープンされているものと思っております。</p> <p>それから3点目に、そういう町家風のもの、そういったものも、今後、いろいろとリノベーションのような形をとって活用ということも考えられるのではないかなというふうには思っています。そういう町</p>

<p>岩田会長</p>	<p>家も堺市にはまだまだたくさん北部も南部も残っているように思います。</p> <p>数字をきちんとなかなかつかみにくいものなのですから、前回もそのようなお話がありましたし、どれぐらいなのかなということはちょっと気になることです。</p> <p>他にございませんでしょうか。</p> <p>検討の視点の中で、例えば大道筋の場づくりということで、区民評議会と大道筋の場が連携しつつ、大道筋について議論を深めることが必要というふうに書かれていまして、あと方向性とか取り組み案についても、そういう方向でより具体的なアイデアが書かれているというふうに思います。</p> <p>もう少し、町家の検討の視点の中に町家の保全・活用ということで、中に項目が4つございますけれども、これについてはいかがでしょうか。書き方とか何か抜け落ちはないかなとかご意見はございませんでしょうか。</p> <p>そうしましたら、検討の視点の中に全般、町家の保全・活用、それから大道筋の場づくり、もうひとつが区民意識の向上ということで、みずから景観に配慮した建物を建てるなど、地域の人を取り組んでいることを応援する仕組みづくりということで、仕組みというものが非常に大事なかなというふうに思いますが、ここの表現もいかがでしょうか。</p> <p>では、右のほうに進みまして、方向性、それから取り組み案というふうの流れがございますけれども、方向性の一番上のところが、町家の保全・活用の取り組みということで全体像が書いてあります。3つの項目に分かれています。</p> <p>先ほどから真ん中の歴史的価値のある町家の保全、活用というのをつけますということが取り上げられてきましたが、あと2つはよろしいでしょうか。</p>
<p>佐野委員</p>	<p>周辺環境の整備に2つ目の四角のところなのですから、そちらで区民、大道筋において、区民、事業者・企業、活動団体が集まってまちづくりを進める「場」づくりを推進とあるのですけれども、それに伴った取り組み案として、沿道景観の緑化形成整備の統一化を図ったほうがいいのではないのでしょうかということなのですから、こちらのほうは中・長期の案になっていますので、中・長期というのは</p>

	<p>どれぐらいでこういう緑化形成整備というものを行うという形で考えていらっしゃるのかということをお伺いしたいのと、あと、自転車のまちを想起させるイベントの実施ということなのですけれども、この間、百舌鳥古墳群のほうが世界文化遺産登録の候補に何か挙がったということで、それでもし登録されたらツアー・オブ・ジャパンですか、自転車レースのほうがなくなってしまうと思うのですけれども、その候補として、もしかしてこの大道筋とか考えていらっしゃるのかどうかと思ってお聞きしたいと思ったのですけれどもいかがでしょうか。</p>
<p>事務局 (企画総務課長)</p>	<p>先ほど、ツアー・オブ・ジャパンの候補に大道筋になるかということは、ちょっとまだ私のほうに連絡は来ておりませんので、そのあたりはちょっとわかりませんが、ちょっと冒頭の沿道景観形成というところと、一番目の緑化・美化活動の推進というところでは、緑化・美化活動というものは、少なくとも、すぐさまやれる部分と、あと、花壇等のハード系をどう変えていくかとか、そういう部分がございますので、植えかえとかそういうことに関してはすぐさまできるもの。</p> <p>ただし、街路樹とかは既存の街路樹がございますので、実際にその町並みまで変わったと実感できるものはちょっと先になるのかなということと考えてございます。</p> <p>あと、沿道景観の形成といいますのは、例えばファサード、この店舗の前のその景観をそろえていく、例えば色をそろえとか、建築協定とか地元でルール決めをやって、こういうファサードにしましょうというようなことは民間の所有権に立ち入るような話でございますので、そのあたりは長期になってくるのかなと考えてございます。</p> <p>ご質問はそろいました。</p>
<p>川上委員</p>	<p>できあがるのは長期だけれども、やろうとするものは早くしなかったらいつまでたってもできないような気がして。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>そういう意味の短期ですか。短期というとはどれぐらいですか。</p>
<p>事務局 (企画総務課長)</p>	<p>一般的に行政計画といいますのは、行政が取り組む計画としましては、長期といいますと10年ぐらいを想定するものです。大体、基本的な構想と方向性で10年を設定しまして、事業レベルではおおむね5年で切っていくということが一般的です。</p>

<p>間宮委員</p>	<p>短期といいますのは、1・2年、5年ぐらいが中期で、10年が長期というふうに行行政が執行していく事業については、おおむねそういう形でつくっていくのですけれども、今回は民間の方の取り組みであったり、協働の取り組みというものがございますので、そのあたりは相手方がございますので、促進していくような内容もあると思います。民間が主導でやっていく。その部分については、先ほど申し上げた10年というもので全てできるのかということは、ちょっと今、いろいろ考えていかなければいけないとは考えてございます。</p> <p>なかなか全て方向性として間違っていないくて、一個ずつ見ていくと、一個ずつ全てやっていかなくてはいけないのですけれども、何かやり方をどうしていくのかというものがすごく難しいような気がします。</p> <p>特に行政と民間ということもあたり、その民間でもやはり地元の方であったり、新しく入ってくる方も出てくるので、何かそういう、今、取り組んでいるものをもう少しわかりやすくしていかないと、なかなか誰も進みにくいのかなと。</p> <p>そんな中で大道筋というひとつの名前が、本当にそれがいいのかどうかということも、大道筋はなんだというところまで言ったら、ただ単に白い道があると、でも、それは見方によってはすごく寂しくて活用されていないけれども、でも、何かリラックスできるというようなものがあたり、何かいろいろな方向性があると思うのです。</p> <p>だから、本当に大道筋というものを歴史、堺の歴史文化街道というようなものに、例えば、キャッチフレーズでもつけてしまうと、大道筋はそういう文化とか歴史がいっぱいあるのだなとすぐわかってしまうと思うのです。</p> <p>僕は、以前、堺市に、あれを全部公園化にしてしまおうと、もう車もやめて緑化にして、広い公園というものをしたらどうかという、何か長期のビジョンかもわからないのですけれども、何か少し、今の時点でわかりやすくするということがすごく大事なかなと思うのですけれども。その中に町家があったりしてもいいと思うのですけれども。</p> <p>こういうことをすごく、一個ずつ議論していくことも大事なのですけれども、何かみんなが思っている堺の大道筋、堺の町家を何か一言でわかりやすくしていくのも大事なかなという、ちょっと思ったのですけれども。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>今のご意見ですが、なかなかこの場でアイデアも出てきにくいです</p>

<p>事務局 (企画総務課主査)</p>	<p>けれども、そういったことを取り組める仕組みというか組織というか、例えば、どのように評議会もかかわるのでしょうかというようなことも聞きたいですけど、そういう組織というものも想定できるでしょうか。</p> <p>評議会としてはやはりそういった部分での方向性を、一定、示していただくということが必要かなとは思っております。</p> <p>その辺を実際にやっていくに当たっては、評議会がやっていくというよりは、例えば、今回におきましては、大道筋にこういう場を設けている議論していただいたりという、検討していただいたりということも考えてはおります。</p> <p>ですから、例えば、ここで、評議会から出てきた今までのご提案とか、そういったことを、後ほどまた場づくりのことについてはご説明をさせていただくのですが、そういったひとつの検討をいただくようなメニューとして挙げていくということも可能かなと思っておりますので。まずは評議会の皆さんの、そこは連携しながらという形では、今後、場づくりのほうで具体的な検討ということも含めて考えていきたいかなと思っております。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>そういうことなのかなと思うのですが、例えば、今、間宮委員のおっしゃったことを、この資料1に何らか反映させるとしたら、どこにどのような文言を加えておくべきかなということでご意見をいただけるとありがたいのですけれども、いかがでしょうか。</p> <p>最後の取り組み案のところを見てますと、つついハード的な話に、やはりイメージしやすいですし、書きやすいですし、そういうことになってしまいがちなのですけれども、今のようなご意見を反映できるというかなと思います。</p>
<p>間宮委員</p>	<p>多分、また後から議論になると思うのですけれども、場づくりというところで、場というものは人が集まっていくところなので、例えばお店とかミュージアムとか町家とかいう、この場所ですよ。それはもうどんどんふやしていかないといけないと思うのですけれども、その場づくりの前に大道筋自体を空間化しないといけないと思います。</p> <p>空間化というものは、何かそこに行ったらできるのではないかという、そういう何かひとつの空間にしていけないといけないと思うので</p>

<p>岩田会長</p>	<p>すけれども、そのためには、何かしようと思ったときに規制があったり、特にイベントを何かしたいなと思っても警察の許可があつてできなかったり、例えば、映画の撮影をそこでしようと思っても、何かそういう規制でできなかったり、建築でそういった町並みに対して民間で何かやろうと思ってもなかなか民間の資金力だけではできないので補助金ができたりという、何かその、行政で何か大道筋全体を空間化しておく必要があると思うんです。</p> <p>そこに、その空間化して魅力があると、民間がみんなそこにやってくるというような、何かそういう取り組みをきちんと明確にしておかないと、やりたい人がいてもできないし、やってもらおうと思っても誰もやってくれないという、何かそういうまちづくりの関係性というものは、多分そうだと思うのです。</p> <p>きのう、ちょっとニュースで見えていたときに、渋谷のパルコが、きのう閉店、もう閉店するのかな、僕ら若いときによく行っていたのですけれども、あれはもともと市役所通りと言っていたのです、あの通りは。でも、パルコができてみんながぼっと集まってきて、名前が公園通り変わったと、一気にイメージが変わって、公園通りに人があふれてきて店ができてきたという、何かそういう、本来は最終には民間がやるのですけれども、民間がやる前に行政というか評議会でもいいのですけれども、何かそういうイメージを仕掛けていくとどんどん民間が乗ってくるような、何かそういうものをうまくやったら、こういうものが自然にできていくのではないかなと思うんです。</p> <p>だから、本来は何かそういうものは、こういう席で、多分出てくるものではなくて、何か地元の若い人たちが集まっていて、大道筋、名前、あれ変えようやとって誰かが言い出したと、何かそういうものが広まって行って雰囲気が変わっていくというような、本来はそれがいいと思うのですけれども、やはり今の時点になってくると、もうちょっと何か行政指導で、そういったことをソフトですよね、そうすると民間がハードをつくり出していくというような、何かそういう関係性ができたらいいのかなと思っているのですけれども。難しいと思うのですけれども。</p> <p>おっしゃっていることは、私も間宮委員も同じようなフィールドを持っていますのでわかります。</p> <p>今のお話を、例えば、この方向性の真ん中のところの最初の、3つの丸の最初のところ、大道筋を魅力ある通りにする取り組みを継続し</p>
-------------	--

	<p>て実施と書いてあるのですが、まさしくこの通りというものを、例えば空間と書いておくということはいかがですか。</p> <p>そういういろんな興味を持って来てくださる方がふえることがまず第一。そうすると、またいろいろな若い方もかかわってくださるかもしれないし、いろいろな意見が聞ける機会もふえてくるしということなので、おっしゃっているようなことが最初のきっかけづくりにはすごく大事なこともわかりません。</p> <p>今、間宮委員も、それから岩田先生からもちょっとご意見があったように、第三者が聞いてわかるような、イメージできるような大道のキャッチな言葉は要ると思うのです。</p> <p>今ですと、我々は大道と言えば、この委員の中ではコンセンサスがとれていますけれども、第三者の一般の市民が見たら、多分、何をやっているのかということになってくると思いますので、これは、私、ひとつの一例ですけれども、例えば、今おっしゃったような言葉をつなぎ合わせて、これはもう本当に陳腐なことなので、全然取り上げてもらわなくてもいいのですけれども、歴史資源が眠る若い人たちとともに歩む大道とか、何かそのような異空間大道とか、特区な大道とか、何でもできる大道とか、何かそういうふうなわかりやすいキャッチな言葉をつくり上げるということも、ひとつ、イメージ戦略としては重要なことかなというふうに考えています。</p> <p>今、空間とおっしゃったように、空間と言われるとやはり自由なイメージ、発想が浮かぶのです。そういうイマジネーションできるような言葉遣いというのも物すごく、今後、行政にとっては重要だと思っていますのは、どこの行政などもそうですけれども、横から見ていると、やはり情緒的な価値とか、そういったことに力を入れることは物すごく弱いんです。機能的価値や社会的価値には物すごく力を入れられるのですけれども、そういう情緒的な価値に力を入れることは弱いように見えますので、やはりそこをやることで一般の方にもわかりやすくなるのではないかなというふうに考えています。</p>
<p>谷本委員</p>	<p>今、間宮委員も、それから岩田先生からもちょっとご意見があったように、第三者が聞いてわかるような、イメージできるような大道のキャッチな言葉は要ると思うのです。</p> <p>今ですと、我々は大道と言えば、この委員の中ではコンセンサスがとれていますけれども、第三者の一般の市民が見たら、多分、何をやっているのかということになってくると思いますので、これは、私、ひとつの一例ですけれども、例えば、今おっしゃったような言葉をつなぎ合わせて、これはもう本当に陳腐なことなので、全然取り上げてもらわなくてもいいのですけれども、歴史資源が眠る若い人たちとともに歩む大道とか、何かそのような異空間大道とか、特区な大道とか、何でもできる大道とか、何かそういうふうなわかりやすいキャッチな言葉をつくり上げるということも、ひとつ、イメージ戦略としては重要なことかなというふうに考えています。</p> <p>今、空間とおっしゃったように、空間と言われるとやはり自由なイメージ、発想が浮かぶのです。そういうイマジネーションできるような言葉遣いというのも物すごく、今後、行政にとっては重要だと思っていますのは、どこの行政などもそうですけれども、横から見ていると、やはり情緒的な価値とか、そういったことに力を入れることは物すごく弱いんです。機能的価値や社会的価値には物すごく力を入れられるのですけれども、そういう情緒的な価値に力を入れることは弱いように見えますので、やはりそこをやることで一般の方にもわかりやすくなるのではないかなというふうに考えています。</p>
<p>川上委員</p>	<p>谷本委員にちょっと質問なのですが、お店、あそこに開いておられますよね。前の道が大道筋と言われるのと紀州街道と言われるのは、どちらがお好みですか。</p>
<p>谷本委員</p>	<p>それは難しいですね。</p>

	<p>私の店舗の前には、たまたま紀州街道という、あれが大きくなって います、やはりあそこの紀州街道という標石は、我々の店にとって は歴史的価値の物すごく高い意味合いのあるシンボリックなものとい うふうに考えています。</p>
川上委員	<p>私はお客様をご案内するときに、紀州街道を 100 回言ったら、大道 筋は 1 回ぐらいしかないのです。もう全国から来る人にわかるのは絶 対に紀州街道なのに、なぜ大道筋なのかなど。一々説明しないとだめ になりますね。紀州街道それひとつ言えばみんながさっと理解すると、 そういうことなので、この命名に何でだろうかという気はしているの です。</p> <p>ちょっとそれで、実際にそこでお店をされているからちょっと聞き たかったということなのです。</p>
間宮委員	<p>その話になってしまっていていいのかわからないのですけれど も、そういうことを考えたときにいろんな背景があると思うのですけ れども、やはり大道筋は何が特徴かという、やはりチンチン電車が 通っているというあのレトロ感と、この道のよさがすごくいいと思 うのです。</p> <p>紀州街道とか大道筋とかあるのですけれども、本当に一般にわかり やすいあれを何かチン電通りみたいなものにもしめかえると、何かそ こでいろいろなキャッチフレーズが出てきたり、いろいろなイベント もできたり、何かキャラクターができたりするので、もちろんもとも とあった大道筋という道もいいですし、その前の紀州街道もいいので すけれども、何かもう少しそれが発信できるような、言えば観光につ ながるような、人が来られるようなものにやはり置きかえていかな ければいけないと思うのです。</p> <p>そうしたときに、例えば、単純に、もうチン電通りみたいなものが ぱっと浮かぶと、何か行きたくなるような、実際にチンチン電車に乗 って行けますので、何かそういうことを発想で、何かそれを機会に変 えられないかなとちょっと僕は思うのです。</p> <p>ここで議論していいのかわかあれなのですけれどもね。何かそうい ったことを、多分、民間で幾ら話をしていても多分変わらないので、 何かこういうせっかくの皆さんが考えている、大道筋を考える場なの で、一個ずつのことはもうそれぞれが、皆さん、力があるのででき ると思うのですけれども、全体のイメージを何かここで変えてしまえば、</p>

<p>桂委員</p>	<p>後は楽なのかなという気はちょっとと思って、何かその議論ができたらし ていきたいなどはちょっと思いました。</p> <p>間宮先生の続きなのですけれども、僕も今のところに住んで六十何 年たつのですけれども、住んでいる者は大道筋とあまり言いません。 使っていない。僕も使いかけたのはここ 20 年ぐらいです、大道筋と初 めて名前を言い出したのは。</p> <p>今までで、どこにあるのと言うと、そこへ行ってチンチン電車の通 り、あそこに、東側にあるからとか、こちら側はフェニックス通りの ところにあるからとか、道を説明するために大道筋という言葉は今で も使っていません。</p> <p>だから、一遍、住民の方でどれだけ使っているかと言うと、ほとん ど日常的には出てこない言葉です。大小路通りはまだ大小路通りと言 うけれども、僕はずっと大小路通りと大道筋は一緒だと思っていたの です。両方大きいとついて、大きい道と、それで、大小路筋というも のと大小路通りとか、今ではシンボルロードとかいろいろな呼び方が ありますので、はっきり認識している人は少ないのではないかと今で も思っています。</p> <p>紀州街道のほうが、まだ昔のイメージを持っている人は、電車で、 阪堺線もつけかえ工事がありましたし、それ以前の、ご存じの方は紀 州街道のほうもやるんで。</p> <p>それと、あと、ちょっと町家のほうでやったことは、こういう意識 を持っておられるところは、間宮先生、前、改造されている民家をご 案内していただいたのですけれども、谷本委員のところのお店もそう ですけれども、私が建具屋さんから聞いた話ですが、あそこの並びの ところで注文いただいたのが網戸、木製の網戸にしたいと、今までサ ッシの網戸はよくあるのですけれども、その景観に合ったように網戸 自体も木製にということで、今、注文を受けてやっているのです、この ような注文を受けたのは、もうここ何十年も受けていないので、やり 方をもう忘れてしまうわと、忘れていたわというぐらいの、玄関の縁 とかは木製でつくっておられるのですけれども、雨戸も杉板を張っ ていますよね、その内に行く網戸、ああいうものまで気をつけておら れるお店の方がいて、その景観を大事にしていこうと思ってはってや っている。</p> <p>あと、この行政のほうも、今までこうやって評議会とかいろいろな 場で古い建物を大事にしましょうということを並行して今もやってく</p>
------------	--

	<p>れていますよね。ちょっとした計画のときとか、いろいろなこういう 大道筋の、何回かいろいろな町並みカフェとかいろいろやってくれて いるところでこういうものを大事にしましょうと言っていただいている から意識が高くなってきていますし、とりたててこちらの評議会の ほうで結論を出さなくても、並行して行政というか区役所の企画総務 課の方もずっとあらゆるところでこういうふうな方向性というものを 同じように共有して、多分、住民の方とかいろいろな団体に会うとき には、この場での討議の意見を大体、こう踏まえて説明をしていただ いているから、大体浸透というか、実際、結論を出さなくてもこうい う経過自体である程度成果も出ているのではないかなと思っておりま す。</p>
岩田会長	<p>今の大道筋、要するに、私、ちょっと思ったことは、大道筋という 名前に、皆さん、あまりこだわらないということがわかったので、そ れは一つかと思えます。</p>
間宮委員	<p>こだわっていないのですが、逆にちょっと、その名前がなかなか発 展性につながらないのかなと僕は。</p>
岩田会長	<p>そうですね。だから、今から新しく何か興すときに、そこを発端と していい機会になりそうかなと思いました。</p>
間宮委員	<p>そうなのですよ。こういったすごい意見があるのですけれども、こ れをまとめる名前が、これが何か合っていないのかなと、ちょっとふ と思ったのです。</p>
谷本委員	<p>歴史的なことを言いますと、私、詳しいことは全然わかりませんけ れども、桂委員がおっしゃったように、父が言っていたのですけれど も、大道と言いだしたのは最近だと。そんなこと昔は言っていなかつ たと、あんな言葉はなかったと言っていましたから、多分、もう桂委 員がおっしゃったことは間違いないと思う。</p>
間宮委員	<p>道を広げたときからだと、戦後かと。</p>
谷本委員	<p>それも、だから歴史的なことはちょっと調べていただいて、昔はど ういう言い方をしていたのか、僕も言い方を父から聞いてましたが、</p>

	<p>忘れてしまいました。</p>
川上委員	<p>一般的にはチンチン電車の通りと。</p>
岩田会長	<p>はい。では、また大道筋にこだわりを持たなくてもいいという歴史をちょっと教えていただきたいというふうに思います。</p> <p>それで、今、お話が出たことなのですが、取り組み案のほうに、上から2つ目のところですよ。ハード的な整備が10個ほど並んでいるところなのですが、例えば、ここに、大道筋の、今のようなご意見を1個ふやすというようなことでどうでしょうか。</p> <p>この項目は大道筋の話だけではなくて、もうちょっと全体の広がりをおっしゃっているのだらうなというふうには思っております。</p> <p>どうでしょう。私も今すぐぱっと浮かばないのですが。</p>
湯川委員	<p>来訪者とか多くの人というものが、何かわかったような、わからないような感じがすごくして、全国から呼びたいのか、それとも外国人の方を呼びたいのか、それによって取り組みは大きく変わるのかなと思っていて、私は町家という、何かどうしても外国の方しかちょっとイメージができなくて、外国人とか、あと若い方がゲストハウスという形の使い方で宿泊とか何かそういうものを活用するというイメージしかちょっと持てないところがあったりして、その来訪者とか多くの人という言葉自体が、何かわかるような、わからないような感じがするなということを思いました。</p> <p>あと、方向性の中で、結構、町家の保全とか活用とか周辺環境の整備というものは結構ハードなこと、まちづくりに関する区民意識の向上というものがソフト面かなと思っていて、区民意識の向上とは、そこに住んでいる方たちの理解を高めるというところはもちろん大事なのですが、例えば来訪者、国内にしる海外にしる、やはりお店をよく活用されると思うんです。それこそ喫茶店にしてもホテルにしてもレストランにしても、どこか買い物へ行くにしても、今、プラットフォームとかへ行くと、夜9時ぐらいに行くと、もう中国人とか韓国人の方で結構わいわいしているなとイメージがあって、何かそういう中で、そこに住んでいる方だけではなくて、やはり来訪者が最初に接する人は、やはりお店の方かなということ、なので、このあたり、区民意識を向上、もちろん大事なのですが、最初に接するお店の人がいかに町を知っているかということも大事かなと。</p>

	<p>ここに来たのだけれどもどこに行ったらいいかなと、多分、相談されるのはお店の人とかが多いかなと思うので、何かそのあたりの、そこで働く人たちの意識の向上というか、その方たちに堺区とかそういう歴史的なところのよさとか、こういうところを紹介したらいいよということを何か醸成させていくということも、このソフト面の中で必要かなということを思いました。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>来訪者というのが真ん中にあるんですね。ちょうど真ん中あたりにありまして、これも去年あたり、何度かどういう人を対象にするかという話をしてきたと思うのですけれども、確かにどういう人を対象にするかということをもう一回振り返ってみたいなという気がしました。来訪者だけではなさそうな感じもしますし、そうすると、どう考えたらいいのかな、具体的に。</p> <p>それから、一番下の方向性の下の括弧の中に、片仮名用語でシビックプライドを醸成とかあまり好ましくないと思うのですけれどもいかがですか。</p>
<p>川上委員</p>	<p>そう。それを言おうと思っていたのですけれども。これ、日本語で何かいいものがないかなと。何か日本語でないですか。四文字熟語ぐらいですばっと出るもの。</p>
<p>間宮委員</p>	<p>地域への愛着</p>
<p>岩田委員</p>	<p>愛着、そのことに湯川委員がおっしゃったことをちょっと加えていただけるといいかなと思うのですけれども。</p>
<p>川上委員</p>	<p>それからもう一つ、先ほどの来訪者というもののイメージのお話ですけれども、私自身は堺市に住む堺区のこの辺以外の人という部分を確か言っていたと思うのです。</p> <p>堺市の人たちがもっと堺のことを知るといっても、地元ではなくて、やはり堺区のことを知らなければいけないのです。それがちょっとイメージにありました。</p> <p>今言われたように、確かに来訪者というと何か中国人のことを言っているのかなという気はします。この言葉も何かに変えたほうがわかりやすいと思います。</p>

<p>岩田会長</p>	<p>たくさんのご意見を出していただいておりますが、右端のほうの取り組み案というところにも入っていただいて、お考えを、ご意見をいただきましたら。いかがでしょうか。矢本委員。</p>
<p>矢本委員</p>	<p>この取り組み案を見ていて、何かもう一つ方向性が見えないと思うのです。整備はいいのですけれども、では、どういった形で整備するのかです。今、何が不足していて、どうしたらいいのかというところの具体性がないと思うのです。</p> <p>だから、絵に描いた餅で、結局、何も進まないような感じがします。私は実際、いろいろ取り組む中で欠けているなというところは、実際にしたい人がいても、今、何から取り組んでいいかわからないという人が多いと思うのです。私は、ある程度つながりがありましょうがありますから、先月、初めて大小路通りでイベントをするにあたり歩道を借りた時にも、その道筋というものがわかるので、実際に実現していますけれども、普通の人があそこを借りるとなったときに、では、どこに言いに行き、どうしたらできる可能性があるのかというところが全く見えないと思うのです。これ、今後、大道筋にも同じことが言えると思うのです。利用したいと思ってもどうすればよいかかわからないと思うので、わかりやすい窓口の設置も、取り組みのひとつになってくると思うのですけれども、いかがでしょう。</p>
<p>事務局 (企画総務課長)</p>	<p>日ごろから、矢本委員にもそういう話を日ごろからしていますので、実は、この後のご説明をさせていただく大道の場づくり、広場の中でそういうご意見をいただいた中で、例えば、個別相談の機能を用いて、いろいろまちづくりを進めるに当たって、パートナーを探しますというか、そういうこともご説明をさせていただきますので、ちょっとこの場ではこれぐらいにしておきます。</p> <p>その答えについては、次の資料2の中でお答えをさせていただきたいと思います。</p>
<p>谷本委員</p>	<p>具体的な取り組み案のところちょっとご意見させていただきたいなと思っていますのですけれども、こういう区民評議会の中で議論しているのです、やはり我々、何か成果を出していかなければいけないということが求められていると思うのですけれども。これは第一に我々の問題ではなくて、こういう場で、今、一生懸命取り上げている問題の中で、スピーディーに動いてほしかったなと思うことは、きょう、日</p>

<p>岩田会長</p>	<p>経新聞の第一面に民泊のことが載っていました。これ、1週間以上の民泊でないと認めないというものが2泊3日、特区をつくったということで、千葉市とか二、三市、手を挙げて認められていました。こういうものが、僕は、堺区がやはりいち早く、どこよりも早くやるところに意義があるのではないかなと。やはり二番煎じは、僕はあまりよくないなと思っているのです、今。</p> <p>こういうところに、やはり、大道に向けて今やろうとしていますよということを、やはり行政さんがそういう力を見せてほしいなど、第一面に堺区がやったよというものを載せて、やはり決意を表明してほしいなど。そうしたら、我々評議委員も絶対にやろうかというふうになってきますし、成果が出ているなというふうにもなってくるのではないかなというふうに考えていますので、今からでも全然遅くないと思います。2泊3日の特区ですよ。これ、やはり、いろいろなハードルはあると思いますけれども、手を挙げていただきたいなど。</p> <p>それから、すぐできて割とお金がかからなくて、割と成果が上がっているなという、ひとつちょっと事例を申し上げますと、「職男（しょくだん）」という言葉が、今、大阪でありまして、これは何かというと、職人男子です。例えば、包丁などを一生懸命やっておられるイケメンの男子とか、これにフォーカスしてどんどんアピールしていくのです。いろいろな業界でいろいろな人がいらっしゃいますよね。外国人の方とかもいらっしゃいますし。こういった人、女子でももちろん結構ですし、情報を堺区の、この大道筋なんかで、職人さんがたくさんいらっしゃいますから、ここにこういう職人さんがいると、それで行ったら、仕事の邪魔になりますからあれですけども、アポイントをとって行ってもらうなり何なりしてもらったらいと思いますけれども、話が聞けるよとか、そういったことをやっていただくと、やはり我々の区民評議会でも、やはり何か活動をしているというふうに思ってもらえると思うので、短期的なことなのですけども、そういうことを取り組んでいただきたいなというふうに考えています。</p> <p>大道筋という、言葉ばかり何回も出てきているのですけれども、大道筋というものが大道筋だけではなくてという、そういう視点でお考えいただきたいと思うのです。</p> <p>町家というものはもちろんそういう意味でおっしゃってくださっているのはわかりますけれども、他にご意見はございませんでしょうか。</p> <p>今おっしゃっていただいた、そういう情報も本当に大事ですね。人</p>
-------------	--

	<p>間を情報とするというか、町の情報というものも本当にコアの部分ですよね、忘れていた部分だったかもしれませんので、取り組み、もしくは方向性の中にそういったことも加えていただけますでしょうか。</p> <p>多分、今までそういう記述がなかったようなことを新しくつくるということは非常にエネルギーが要ることで、ハード的な話は資料を探せばいろいろな言葉があっただけすぐ見つけられるし、まねをして移すことはできるのですけれども、新しいそういった材料をぜひここから発信するという事で評議会の意義があるのではないかなと思います。</p>
川上委員	<p>町並みという話があったと思いますけれども、この表だと町並みが出てこないのです。町家だけではなくて町並みというものもあったと思いますので、それも足しておいてください。</p>
岩田会長	<p>町家の保全・活用のあり方についてという本日の議題1なのですけれども、今、委員がおっしゃっていただいた言葉もその中に、確かに明記できていませんのでお願いします。</p> <p>じゃあ、今の内容なのですけれども、たくさんありました。 大道筋の名前をこういった活動の取っかかりにするほうがいいのではないかとご提案がございました。</p> <p>次の議案2の、大道筋における場づくりの取り組みについてというところに移りたいと思います。先ほどペンディングになっていましたようなことも含めまして、事務局から、ご説明をお願いします。</p> <p>(2) 大道筋における「場」づくりの取組について</p> <p>資料2に基づき、大道筋における「場」づくりの取組について説明。</p>
岩田会長	<p>ただいまのご説明に関しまして、前回のいろいろなご意見が反映されている内容であるかと思えますけれども。矢本委員、いかがでしょうか。</p>
矢本委員	<p>そうですね。本当にいいのではないかなと思います。</p> <p>もう少し言うと、こういうものが、実は簡単にできるような気がするのです。場を開きさえすれば、たくさんの人が集まって、活発な意見が交換できると思います。もうひとつには、当然、堺区というところを考えると、大道筋は南北の筋ですよ。他に中心市街地活性化協</p>

	<p>議会のほうでまちづくり部会というものも新しくできています。これはどちらかといえば、東西の190ヘクタールの部分なので、そういったところともうまく連携していけば、うまく堺区としての面展開として活性化の足がかりになるのではないかなとは思っています。</p>
岩田会長	<p>他にご意見、ご質問はございませんでしょうか。</p>
川上委員	<p>ちょっとあまりよくわかっていないのですけれども、これいいですよ。いいけれども、ここに矢本さんが入ったとしたときに、何があったらこれは失敗しますか。そこを解決しておいたほうがいいですよ。あまりいいと言っていると、何か落とし穴があるような気がして。どんなことがあったらうまく行かない、それをカバーしておいたほうがいいような気がします。</p>
矢本委員	<p>そうですね、ちょっとイメージなのですけれども、失敗というものはあまり考えられないと思います。しかし、ある程度事前に、何を話し何を決める場なのかということを決めておかないと、あちこちに話が行ってしまったときに、その軸がないと、すべてが正しいことになってしまう恐れがあります。多分、間違っているかどうかは先になってみないとわからないので、取り組んでいかなければいけないのですけれども、何を優先的に取り組むかという軸はあったほうが話としては進めやすいのかなと思います。</p>
川上委員	<p>そのとおりです。</p>
間宮委員	<p>一言言わせてもらおうと、失敗もしないけれども、これ、多分、成功もしないですよ。成功というものは何かというと、やはり目に見えて変わるという。多分、気持ちは、みんな、多分、変わっていくのですけれども、やはり何かしようと思うと、やはり経済的なことも関連してきますし、例えば法律的なものもということで、意見を言うけれども、多分、何も変わらないと、少しずつ変化はしていくと思うのですけれども、その、すごくリーダー的な人が1人出てきて、その人がみんなを引っ張っていったり、影響力を受けていくことがあるのか。それとも何かひとつの施設がどんとできて集客されていくとか、世界遺産みたいなものに登録されて注目をあびるとかいう、何かそういう目玉がなかったら、</p>

	<p>これなかなかできないので、この語り合う、交流、学び、実践の場という、この実践のビジョンをつくったほうがいいような気がするのですけれども。</p> <p>それを何か評議会のほうで、この人たちが、それについて議論して実践していけるようなベースづくりをしてあげたらちょっといいのかなと思うのです。</p> <p>先ほども言ったように、やはりキャッチフレーズであったりマッピング、わかりやすく絵に描いてあげたり、わかりやすい言葉にしてあげるといふ。それをどういうふうにするかということはみんなで話し合って実現していったらいいと思うのです。</p> <p>何かみんなで話をすると、目標というものは、それぞれの目標があるので決まらないです。もう目標を誰かが決めて、それに賛同してもらって進んでいくと、結構進んでいくという。わかりやすく言えば、大阪は水都大阪ということで、要するに、あの水辺を活性化して都市を活性化していこうと、その水辺に人を呼ぶ、観光として人を呼んでいこうという。そういったことを、今、五、六年前からばんと掲げてやっているのです、どんどん変わってきていますよね。船もどんどんふえたしわかりやすいですけれども、やはりこの堺区については、やはり、今、大道筋というところまで来ているのですけれども、大道筋をよくしようと言っている、なかなか難しいのではないかなという。何かそういうところまでぐっと入り込んで、この評議会でビジョンをつくってあげたら、何か乗ってきそうな気もするのですけれども。</p>
<p>谷本会長</p>	<p>結局、先ほどの議論に戻らと思うのですけど、これ、やはりコンセンサスを持った共通の価値観の人間が集まらないと、結局、やりたいことは、手段はみんなばらばらなのです。目標は共通していて、堺区をよくしたいというビジョンは持っているのですけれども、それが到達する手段がみんなばらばらになってくると、多分まとまりがないのです。</p>
	<p>だから、そこで先ほどの仮称というものが物すごく大きな意味をもって来るような気がすると思う。そこでコンセンサスがあって、そういう人たちががっと集まるということが理想ではないかなという、そういうものをやはり評議会できちんと決めていけば方向が出てくるのではないかなと思うのですけれども。</p>
<p>桂委員</p>	<p>この大道筋に関して集まりをしたら、うちも大道筋はどういうイメ</p>

	<p>ージと聞いたら、駐禁が厳しいから駐禁の話になっていくと思うのです。取り締まりね。</p> <p>そうだから、そんな話になってしまったり、それで、もう一人の人が言うには、停留所ごとに駐輪場を置いてもらったらチンチン電車に乗る人もふえるのではないかとか、そういう話に何か特化していきそうな感じで、よっぽど景観とか大きなこういう、先ほどから言われているテーマについてこれをしないと。こちらである程度のテーマをやっていたらいいと思う。</p> <p>本当にお茶を濁すといったら駐輪場をつくるぐらいで終わってしまったりすると思いますので、何とか考えて取り組んでいただきたいと思います。</p>
間宮委員	<p>経済ですよ。人が集まるということは、やはり。</p>
岩田会長	<p>あまりきれいに厳しく、明るくすると人は来ないですよ。</p> <p>来週明け、大道筋まちづくり広場の設置に向けて意見を聞く場である準備会議を開催されるというふうにお聞きしているのですけれども、その件についてご説明いただけないでしょうか。</p>
事務局 (企画総務課主査)	<p>こちらにつきまして、前回プレ準備会議というものをさせていただきました。今回、この大道筋のまちづくり広場を設置するに当たりまして、まず、また大道筋の沿道の方々にお集まりいただき、準備会議のほうを開催したいと思っております。</p> <p>それにつきましては、今回、今お示しさせていただいた資料等をもとに、今後、こういう活動内容でいいのか。逆に具体的に、先ほど、今、テーマというお話もありましたけれども、どういったことをメインに関心が高いのか、どういったテーマで議論していくことが必要なのかとか、そういったことも含めましてちょっとご意見をいただきまして、そのご意見をもって、本日いただいたご意見、そういったことも踏まえまして、こちら、準備会議のほうを開催させていただいて、今後、本格実施に努めていけたらなと考えております。</p>
岩田会長	<p>私、大分前にさかのぼりますと、進め方を含めてなのですけれども、皆さん、それぞれのポジションですごくご意見を言っていたらいいなと思っていて、非常に貴重かつより具体的な意見もいただいていますので、ぜひ</p>

<p>事務局 (企画総務課主査)</p>	<p>そのことをお伝えいただいて、失敗も成功もしないということではなくて、ぜひ成功の方向に行っていただけるといいのかなと思います。</p> <p>それにはあまりきれいにまとめてしまった資料ではなくて、泥臭い話が入ってもいいと思いますので、具体的な話で成功の方向に行くことを願っております。</p> <p>そのことについては、評議会も今後またご相談に乗る機会もあるというふうに考えていますが、それでよろしいでしょうか。</p> <p>こちらの進め方につきましては、常に評議会のほうにご報告させていただきながら、先ほども申しましたように連携というものが非常に大事だと思っておりますので、報告させていただきながら進めさせていただければと思っております。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>はい、わかりました。</p> <p>では、今後、引き続き、ご報告のほうをよろしく願いいたします。</p>
<p>信田委員</p>	<p>大道筋まちづくり広場の内容についての2番目、まちづくりに関する個別相談、マッチング。先ほどの話でもあったのですけれども、個別相談、マッチングもこの活動内容の中に入るとすれば、この広場で評定をされるということなのですか。その広場がそういう評定をする力を持つ活動になるのかどうかをお聞きします。</p>
<p>事務局 (企画総務課主査)</p>	<p>そうですね。評定というか、例えば、お困りの方がいらっしゃいました、こういう相談があるということがあれば、例えば、案件にはよると思うのですけれども、その方にサポーターの方をご紹介しますとか、そういったことも含めて、今後ちょっと、具体的にはもう少し詰めていけたらと思っておりますけれども、マッチングというイメージはそういう形で考えております。</p>
<p>信田委員</p>	<p>そうしたら、マッチングといたら、特にそれを進めていくとか、という、そこまでは行かないということですね。</p>
<p>事務局 (企画総務課主査)</p>	<p>そうですね。基本的にお困りの方とそれを解決する人との出会いの場をセッティングさせていただくような形で考えています。</p>
<p>信田委員</p>	<p>では、そこ、ちょっとマッチングと書くと、何かそれをする力があ</p>

	<p>るのかというふうに思ってしまったので。</p>
岩田会長	<p>この片仮名何かに置きかえられるか。先ほどもマッチングがあって同じ意味ではなさそう。難しいですね、ここはね。</p>
間宮委員	<p>その言葉の意味もそうなのですからけれども、やはりこのまちづくり広場の構成なのですからけれども、やはり縛りとして、この評議会の趣旨であります、やはり歴史・文化の資源を活用したという、何かそういった堺の深みのようなものをやはり入れておかないと、いいことをしているようになっていけばいいのですけれども、何かそれが逆効果になっていくという恐れもあると思うのです。</p> <p>先ほどのビジョンの話なので、本来はこういうことをしていきたいということを決めてやっていただけたらいいと思うのですけれども、なかなかそれが決めづらければ、ひとつの、やはりくりとしては、この評議会の目的である堺の文化資源という、何かそこだけはちょっと守っていかないと、本当に何かいろいろな方向に行き過ぎてしまって、気がついたらばらばらのものができてしまって、余計にちょっと何をしていることかわからないので、何かその意識だけはしっかり入れておいてほしいなという気がします。</p>
岩田会長	<p>いかがですか。どういう入れ方がよろしいでしょうか。</p>
事務局 (企画総務課主査)	<p>そういった部分はちょっとこれから、この具体的に決めていく部分、今、間宮委員がおっしゃっていただいた部分での、先ほどのテーマ決めの部分とも非常にかかわってくるかと思しますので、そういった部分で、今、ご発言いただいた部分も含めまして、今後、ちょっとまた具体化に向けて検討させていただこうと思います。</p>
岩田会長	<p>この資料2のタイトルが、(仮称) 大道筋まちづくり広場の構成・内容となっているのですけれども、いわゆる内容まであまり踏み込んでいる感じがなくて、その辺で、何をやるの、どこに拡散するかもわからないよと、そのような感じがしていますので、内容という言葉を取ってもいいのではないかなという気がします。</p>
事務局 (企画総務課主査)	<p>内容と書かせていただいたのは、活動内容というのを意識してちょっと書かせていただいておりますので、このタイトルを修正させて</p>

<p>湯川委員</p>	<p>いただきます。</p> <p>ちょっと確認なのですが、これはプラットホームのようなものができるというイメージですか。それとも、その広場という拠点ができて、そこに行けば、このようなことをしたいのだけれどもということ相談に行く人がいて、そこに行けば何か相談に乗ってもらえる人がいて、そこからまたこういう広場というプラットホームに対してこういう人が来ましたという報告があって、そこで話し合われてどうするかということを決めていく場なのか、それとも、もうプラットホームができるだけという話で、例えば、まちづくりでこれから何か始めたいという方がいたら、とりあえず企画総務課に相談に行くというイメージなのか、それとも外部の人がきちんと相談に乗ることができる人がいて、となると、その方にも人件費のようなものがかかってくるし、何かどれぐらいの予算規模の話なのかということがちょっとわからないなということをおもいました。</p>
<p>事務局 (企画総務課長)</p>	<p>この区民評議会の中で大道筋の場づくりというご意見をいただきまして、今年度からその場を設置すると。</p> <p>当初、沿道の皆様がまちづくりについて、自由、闊達に話し合う場、行政が行政の各部署を集めまして、堺区が中心になって関連部署の意見を聞いて、それを相互に意見をいただいたり、説明をしたりという場を考えてございまして、多分、年度の冒頭はそういうご説明をして、プレ準備会議をさせていただいた。</p> <p>その中でプレ準備会議、6月17日にさせていただいて、行政の説明を聞くであったり、地元で何ができるのかを話し合っほしいというようなお話を冒頭にさせていただいたときに、そういう話はもう2年も3年も前からいろいろやっています。それはワークショップ等々でいろいろな意見を聞いています、というお話を頂戴しまして、行政と地元のキャッチボールだけではなかなか、今後、場というものが、人が集まってくるといことは難しいでしょうねというような感覚を持ちましたので、矢本委員とか地元でいろいろまちづくりをされている方がこの場を利用して新たな事業展開をしていただけるようなパートナーを探したり、沿道の周辺で何かちょっと手伝いたいけれども、ちょっとどういう形で手伝ったらいいのかわからないと、我々はこういう広場というものを設置して、事業者の方、金融機関とか証券会社の方でもいいと思うのですけれども、そういう方にあなたのスキルを</p>

	<p>生かしてまちづくりに貢献されませんかというようなサポーターになっていただいて、何か新しいことを、いろいろなプレーヤーをまじり合わせることで興していきたいなというような広場を考えてございます。</p> <p>今、湯川委員がおっしゃっていただいプラットホーム機能もございませし、相談機能もございませし、今のところは幅広くちょっと考えておりますけれども、きょう、いろいろ意見をいただいて、どの方向に進むかわからない、議論が拡散して何も結論が出ないというようなご意見もいただきましたので、私どもの月曜日の準備会議の中でそういうことも踏まえましていろいろ検討いただいて、最終的な広場の形、構成、今後の方向性を決めていきたいなと考えてございます。</p> <p>以上でございます。</p>
岩田会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>多分、もう少し具体的に進めていただきたいかなと思います。</p>
間宮委員	<p>本当に名前はすごく大事で、この（仮称）大道筋まちづくり広場の構成とはすごくわかりにくいと思うのです、これ。これでいいと、仮称なのでいいかもわかりませんが、大道筋、空間づくりというとまた難しくなるのかもわかりませんが、大道筋、まちづくりという、この意味合いはどうなのですか。</p>
岩田会長	<p>何でもまちづくりという傾向がある。</p>
間宮委員	<p>そうなのです。まちづくりと言ってしまおうとすごくわかりにくいので、例えば、緑化をすとかイベント会場にすとか、何かそういう、ちょっと踏み込んだものがここについていなかったら、堺まちづくりと一緒にしてくるので、何かすごく本当に広くなり過ぎて難しいような気がするのですけど。</p> <p>何かそこぐらいまでは、何か行政指導なのかこの評議会指導なのかわからないのですけれども、少し方向性、パイロットプランとしてこちらに向いていくのだよというものがなかったら、多分、みんなばらばらになるのではないかなという気はするのですけれども。</p>
事務局 (区長)	<p>これ、大道筋、まちづくり広場というような形になっているのはいろいろ経緯がありまして、今、課長が申しましたように、行政側でい</p>

ろいろな計画とかそういうプランを出してきて、また市民の皆さんからもいろいろな意見をいただいて、そこでのキャッチボールだけで進めていこうということだったのですけれども、ちょっとそれだけでは具合が悪いだらうということで、もう少し幅広くいろいろな意見を持った方に集まっていただいて、その中で話し合われる内容というものは、きっとですけれども、これは我々の期待も含めまして、歴史的なそういう町家の資源をどう活用していくかとか、それからチンチン電車とその周りの緑化をどうしていくかとか、これまでいただいた自転車、ここに抽象的な書き方をしていますけれども、自転車の町を想起させるイベントを具体的にどのような形で進めていくか。そういう思いを持った方々がたくさん集まってきていただいて、その中で改めていろいろな、これまでいただいた意見、それからその場でいただいた意見、そういうものをまぜ合わせて、またそこでテーマ設定を行いまして、場合によっては分科会などもこしらえて、そこで深掘りしながら具体化に向けた実践的な取り組みをしていきたいというふうに我々のほうとしては思っております。

そこで、ちょっと思ったのが、今までの行政の取り組み方といたしましたら、これがプランですよとぼんと出して、さあ、これ、ご意見はございませんかといって、そこでああだこうだと言っても、そのまま押し切ってつくり上げてしまうことが多かったように思うのです。

その中の反省に立ちまして、ちょっと今度は引いた形で、ここで書いているものは確かに項目だけなのです。だから、そこには皆さんからいただいた非常にいろいろな色のついた意見を、特化したおもしろそうな意見がどうもあまりあらわれていないような状態になっています。

それはまた入ってきた皆さんのほうからも、新たな広場に加わった皆さんからもまたいただいたり、また我々のほうからも出したりしながら、そこでもう一回出して形にしていこうと思っています。そこはちょっと濃くしたり薄めたり、今見たらちょっと薄まったような形にはなっているのですけれども、それは行政がこういう形でやりたいのです、どうですかというような形ばかりだったら、なかなかまとまるものもまとまらないということで、ちょっとその反省に立ってこういうような形にしたのです。それは逆にちょっと項目出しだけではないかというような今のご意見になったのではないかというふうにちょっと思っていますので、そこはちょっといいあんばいの形の会合にしていきたいと思っています。

<p>間宮委員</p>	<p>それでもいいと思うのですけれども、その言っていることがわかりづらいので、例えば、大道筋活性化広場とか、何か町をつくるということはもうできているので、何かそこにもう少し、ちょっと目標、目的みたいな言葉が入ると、もう何か活性化するのだというだけで、みんないろいろやっていこうよと、こんなものも使えるしあんなものもあるという、多分、進めるほうも進みやすいと思うのですけれども、まちづくりと言われると何をやったらいいかわからないし、何でもできるし何もできないということがあるので、その辺だけを言っているのです。</p> <p>何かそこは、ちょっとやはり、今後の展開も含めて、何かちょっと議論をして、名前とかキャッチフレーズを決めていかないと、やはり一般の方はそこまでなれているわけではないので、何をやっていいかわからないから、活性化していくのだというだけでもいいし、緑化だというだけでも何かわかりやすいような気がするのです。</p>
<p>事務局 (区長)</p>	<p>そうですね。きょう、改めて教えていただいたことは、ネーミングとかキャッチの大切さということで、我々もこの名前をつけるときにやはり大分悩んだのです。</p> <p>だから、準備会議には紀州街道の活性化準備会議とつけていたのですけれども、大道を中心とした紀州街道を活性化会議とつけていたのです。これは、やはりここは、この間、お渡りも、住吉祭りのお渡りもあって、もともとは紀州街道なのだというようなところも表に出したかった。ところが、このより広い皆さんの知っている言葉で言うと、やはり大道筋かなと思っていたのです。</p> <p>しかし、改めて聞くと、桂会長によれば、そんなもの最近使われた話だということで、もう一回ちょっと、もう頭の中がぐちゃぐちゃになったのですけれども。そういうところを、名前の大切さ、もう一回気がつきましたので、そこはちょっと私が表立って言うことを差し控えていたのですけれども、そこももう一回ちょっと考えないといけないというふうに思っています。</p> <p>それから、目的、志向性ということで言いましたら、当然、歴史・文化を生かしたまちづくりというものは、これは最も我々の中では大切なことです。今、間宮委員がおっしゃっていただいたように、この町のにぎわいとか、それからお客さんを呼んでできて地域の人と一緒にやって、交流の視点であったり、それらをひっくるめて元気にして</p>

	<p>いく、言いかえると活性化ですね。そういったことも、当然、これ、やっていきたいと、そういう気持ちはもちろんありますので、そこら辺も全部含めまして、ちょっと名前についてはまた考えて、進め方も、これ、なかなか難しいけれども、またきょうの意見をいただきましたので、ちょっとその辺、考えていきたいと思います。</p>
<p>間宮委員</p>	<p>今おっしゃったように、まちづくりをにぎわいづくりに変えただけでも大分違うと思うのです。</p> <p>はい。もうそれだけでみんな楽しそうだ、何かできるのだという。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>それはここで決定するのか、もしかしたら広場のほうでもう一回、最終的にもっと揉んでいただいて、いい名前が出るかもしれないです名前にこだわらしましょうということで提案が出たということにしておきましょうか。</p>
	<p>(3) その他</p>
<p>岩田会長</p>	<p>では、案件がもう一件ございます。</p> <p>その他は、前回ありました応募型地域まちづくり支援事業の結果報告ということで用意していただいていますので、お願いします。</p>
<p>事務局 (自治推進課課長補佐)</p>	<p>前回、6月20日の第2回堺区区民評議会におきまして、ご審査いただきました3件の応募型地域まちづくり支援事業につきましては、3件とも全て採択となりましたのでご報告させていただきます。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>それでは、もう一つ、今後のスケジュールをお願いします。</p>
<p>事務局 (企画総務課主査)</p>	<p>そうしましたら、引き続きまして、今後のスケジュールについてご説明させていただきたいと思います。</p> <p>次回会議といたしましては、9月中旬以降に、まず、堺区選出市議会議員との意見交換会というものを開催させていただければと思っております。</p> <p>この日程調整につきましては、会議終了後、調整させていただければと思っております。</p> <p>こちらの意見交換会を踏まえまして、最終、10月ごろに、また区民評議会のほうを開催させていただいて、本日いただいた意見等も踏ま</p>

<p>岩田会長</p>	<p>えまして中間報告（案）につきましてご議論いただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>スケジュールにつきましては以上でございます。</p>
<p>谷本委員</p>	<p>はい、わかりました。谷本委員、何か。</p> <p>ちょっと弊社の宣伝にもなるかもわかりませんが、前にお茶の木を植えるという話をちょっとさせていただいていたのですけれども、その成果が、芦屋の小学校で3年目を迎えてちょっと出てきていますので、それのご報告をさせていただきたいなとちょっと思っています、これ、堺の緑化にもつながることなので、ちょっと、私、ご説明をさせていただきたいなど。</p> <p>ご存じかもしれませんが、今、小学校5年生の家庭の時間が、お茶の入れ方というものが、もう授業の一環の中に実は入ってしまっていて、私も小学生の子供がいませんので知らなかったのですけれども、教科書には入ってしまっていて、ただ、学校の先生がお茶の入れ方を知らないもので、どういう入れ方をしたらいいのかわからないことが今一番大きな問題で、逆に紅茶の入れ方を教えていたとか、そういう実態があったものですから、私、大阪のスローフード協会からお願いがありまして、この兵庫県の芦屋の精道小学校というところで、今、3年目か4年目になるのですけれども、小学校5年生の家庭科を対象に弊社がお茶の入れ方を小学生に教えているのですけれども、この最後のほうに、裏面に小学生3人の授業の感想を書いているのですけれども、初めてお茶を飲んだという子供さんもたくさんいらっしゃいまして、お茶の町「堺」という割には、本当にお茶を小学生がご家庭で飲んでいるのかということ。</p> <p>それから、本当のお茶の入れ方、日常のお茶です、これを知っているのか。それから、お茶の木とは、実際、堺は茶の湯の発祥だと言うけれど、お茶の木を見たことが本当にあるのということが、私はいつも前から思っています、そこから基本に実行することではないかなと思っています、こちらの別紙のホチキスでとめているほうですけれども、これは小学校に実際に、2ページ目なのですけれども、お茶の木が植えていまして、ことしの5月2日に小学生がお茶の木からお茶の葉を摘みまして、これを学校給食のてんぷらにを使って食べた事例です。</p> <p>それから、子供が家庭科の時間に、これは先生が自主的にされたの</p>

	<p>ですけれども、その余ったお茶の芽を揉んで、小学生が実際にお茶をつくって急須で入れたと、こういうことがもし堺の堺区の中で、小学校で全部できれば、本当にすごく情報発信していくと思います。</p> <p>私は何回も言いますけれども、静岡にお茶の木があるのは当たり前ですけれども、堺区を中心街にお茶の木があって、お茶体験ができるということは、恐らく日本中では、今、京都でもないですし、堺が第一目になりますので、他の市にされないうちに、まず先駆的にやってほしいなど。</p> <p>これは恐らく茶会の第一弾になるのです、こういうことが。みんなびっくりするという。お茶を飲むだけではなくて食べることもできるのですよと、お茶の木が身近にあれば。</p> <p>これが、いろいろな虫とかの問題もあって、いろいろなハードルがあるかもしれないですけれども、変なわけもわからないような植樹をするのだったら、やはりテーマに合ったものを堺区としてふさわしいものを植えて、やはり堺というのはお茶だねと言われるような誇りのある町にしていくことと考えてます。この事例を紹介して、これは芦屋で先にされているのであれですけれども、本当は、私は堺区からやっていただきたいなど、こういうことは率先してやっていただきたいなど、これは教育委員会のほうにも力をかりないといけないと思いますけれども、こういう学校の先生への指導とか、我々は本当にボランティアでもさせていただきますので、どんどんやっていただけたらと。</p> <p>茶道は茶道で小学生がやっておられるのは、僕はそれでもちろんよいと思いますので、継続していただければと思いますが、こういう基本的な本当に小学生の体験、お茶にかかわる体験。こういったことは大人でもしたいと思います。こういうことをやはり堺ならではでやっていただきたいなどというふうに考えていますので、そういう事例をちょっとご紹介させていただきました。</p>
岩田会長	<p>では、そろそろお時間になりました。本日は貴重なご意見をたくさん頂戴しましてありがとうございます。</p>
岩田会長	<p>3 閉会</p> <p>それでは、以上をもちまして第3回堺市堺区民評議会を終了いたします。</p>